

新編水滸畫傳

八編

五

~21
875
75



ハ頼不納。其嚴一。批。去。不。喬。乃。漢。妖。水。と。ん。
ハ。審。治。と。重。提。人。と。せ。ふ。勿。ら。妖。水。退。と。審。治。の。法。と。云。し。
ハ。自。り。怪。と。云。く。我。け。佛。の。天。下。第。一。の。妙。法。あり。故。無。誰。
ハ。解。法。と。名。男。の。不。信。が。守。守。中。必。び。吳。人。あり。ん。と。と。せ。ん。と。
ハ。妖。水。退。と。城。中。小。同。り。沈。妻。と。没。け。捷。軍。と。か。え。す。る。妙。法。
ハ。魯。智。深。武。松。劉。奎。李。達。乾。旭。項。元。李。哀。屠。解。と。綁。
ハ。下。小。舟。と。い。は。豫。謀。ま。ら。ず。魯。智。と。罵。く。云。互。賊。汝。い。ん。ど。
ハ。思。と。云。と。故。小。通。日。り。や。唐。賊。留。し。と。云。汝。ね。と。云。と。あ。り。
ハ。汝。の。死。約。已。ふ。と。い。は。時。喬。乃。漢。の。生。投。の。姓。名。と。こ。ろ。と。
ハ。宋。兵。中。の。勇。將。あり。人。小。對。し。と。云。汝。の。志。と。改。め。傳。
ハ。我。晋。王。の。奏。し。と。云。友。の。人。と。あ。る。と。い。ま。と。云。と。汝。の。志。と。改。め。傳。

四好言

事。達。系。之。罪。と。む。と。虎。の。殺。と。遂。と。大。小。竹。ぶ。と。雷。の。ど。く。罵。く。
ハ。汝。乃。人。汝。我。ら。を。つ。あ。る。人。と。い。ふ。れ。と。云。や。我。の。是。黒。之。耶。く。
ハ。黒。旋。風。之。我。と。斬。も。少。し。由。眉。と。鬚。ば。好。漢。の。數。を。と。魯。智。
ハ。深。武。松。劉。奎。又。李。と。魯。智。と。云。汝。乃。人。汝。我。ら。を。傳。え。ん。と。
ハ。と。云。あ。い。我。ら。が。そ。の。切。ぐ。れ。と。我。の。ど。き。服。の。屈。る。と。能。わ。ず。と。喬。
ハ。乃。唐。大。小。怒。り。叱。し。と。い。は。切。ま。と。命。ど。れ。魯。智。深。何。と。と。
ハ。大。小。怒。り。と。我。死。と。い。ん。と。と。傳。ら。が。ど。し。と。喬。乃。漢。の。法。と。云。く。
ハ。中。小。怒。り。と。我。素。より。か。ら。破。と。人。と。い。ん。と。傳。ら。が。ど。し。と。喬。
ハ。と。の。法。の。理。を。見。ん。と。と。慌。し。と。傳。ら。が。ど。し。と。喬。乃。漢。の。法。と。云。く。
ハ。甘。と。め。ら。れ。武。松。又。云。汝。乃。人。斬。ら。ず。則。ち。死。し。と。云。と。魯。智。深。何。と。と。
ハ。と。罵。ま。は。喬。乃。漢。の。法。と。云。く。と。傳。ら。が。ど。し。と。喬。乃。漢。の。法。と。云。く。

新編水滸傳卷之七拾土

の法の其あまふと怪む。唯城の守と學めしあ故の如く相ひつらに己小は又
 自強く其勢。馮紀大を殺し、死にせしむ。喬乃法を城守に
 迎へ、又宋兵のえくく来り、殺ざることを己小の計もするまじと
 て、自ら法をよまごを好む。二万餘騎、次の日、鼓小城と出
 城、南へ、龍山のりく小流に。常江の大塞、小攻、あつり、以時、常江
 へ、城兵、己小、向ふと、波、先、樊瑞、單、廷、陸、魏、定、必、と、て、故、と、迎へ
 一む、喬乃法、己小、自、く、も、阜、小、せり、宋の、陣、と、屋、ひ、ふ、四面、八、向、之、有
 準、前後、左右、之、相、救、門、戸、開、闢、之、有、法、呼、吸、聯、絡、之、在、度
 喬乃法、己小、強、く、己、中、小、休、及、せり、時、小、宋、の、陣、中、一、旁、の、砲、響、に、救
 終、肉、小、離、り、令、を、鼓、天、小、震、ふ、喬乃法、も、阜、と、雷、震、倪、麟、費、法
 薛、燦、と、九、右、小、從、へ、自、く、陣、あ、お、け、れ、ば、宋、お、一、騎、も、先、お、る、と、出、す

是れ、世、魔、王、樊、瑞、へ、己、小、金、劍、と、紅、喬、乃、法、と、拵、く、罵、く、云、城、乃、人
 小、我、小、故、と、や、喬乃法、己小、強、く、己、人、定、く、わ、く、法、術、と、な
 え、我、先、是、と、試、人、と、別、樊、瑞、と、く、て、罵、て、云、汝、智、の、級、わ、い、ん、と、我、を
 と、呼、や、我、汝、と、武、を、と、け、ん、や、樊、瑞、が、云、は、く、し、と、て、別、劍、と、挺、へ、け、る
 以、時、大、軍、大、小、喊、を、起、り、樊、瑞、劍、と、揮、く、切、蒐、れ、ば、喬乃法、も、劍、を
 揮、く、お、迎、へ、戦、ふ、と、三、十、餘、合、小、あ、り、あ、ら、あ、れ、の、段、の、り、より、黒、煙
 ま、れ、上、り、大、小、廻、り、右、小、旋、く、己、中、小、救、ず、れ、ば、屍、人、果、と、ん、く、如、小
 樊、瑞、劍、と、喬、乃、法、一、打、と、喬乃法、と、切、り、小、是、を、と、れ、べ、こ、小、る、り、喬
 人、と、己、喬乃法、鳥、蛇、脱、骨、の、法、と、云、特、と、破、終、と、ん、せ、樊、瑞、切
 来、り、己、小、腹、と、款、小、ん、千、り、一、時、小、喬乃法、ハ、陣、前、小、同、り、呵、く、と、大
 小、笑、へ、樊、瑞、由、る、と、云、く、同、く、と、信、し、く、宋、軍、左、右、の、陣、乃、大、小、并、さ



新編水滸畫傳卷之七拾五



新編水滸畫傳卷之七拾五

とと孫出せむ惟せとんふ孫洪其豹の事なりんば兵と命をて又
統山の陳小同りるふ程も宋兵と唱へて敵をおく大推崇の
孫洪が云ふ作督く休去し一死と堵りて戦つんと喬
乃清いよく虎人乃術と誇りしふ今日公孫孫の術小法と破れ十
分お急り足着く劉孫洪小言て云はえをむとあり我再び破れ
戦んとま生ふるとお言ふ雷も辰もた右も促へり時小大罵て云く水
注の弟冠いんと人を欺くや我再び汝と結成と交すべしと時
陳中子孫孫たお振る右も展く一起伏せし陳と連日合戦書
まま是ふ子とおはれ山東の呼保義及時雨宋公明たのるよ小産
しるん入を統公孫一法も小を小と知く喬乃清と指すと云は
の事だ処の術いおたりと云法小あはれおくるよと我小吹吹

よと喬乃清速ふの先生とんふ小孫小七星冠と戴き小孫孫と思
て小孫孫の古受剣と推すへり喬乃清も孫孫と我今法と云は
ままはとそならんぞ汝小産人や公孫孫共て云はまも小孫小孫
喬乃清唱へて云は我と侮らば再び小孫とんすべしと云も孫
精神と振ひ口中小咒文と唱へてと看く費然と振ひば費然が
小中子持し長徐死も人小奪るがごとく日松とを中子孫揚り
公孫孫とさある公孫孫おしも孫孫と必く秦明と振ひば秦明
が持し狼牙棍も中子孫と中子孫と難き彼長徐とを中子孫と
戦ひる時あると戦と他り各呆れん知小忽ら小一ひ言ふと彼長
徐直ら小狼牙棍も中子孫と中子孫の戦と費とまらば指牙棍
始のぞく秦明の手中あり喬乃清又念鬼しと看小の房と振

以く喬乃法とさく喬乃法は中ふ念鬼をれども更ふおの
 奇特もあふんば中ふ大ふありてる処ふ公孫猪大勢小喬例
 するより下く縛と更ふと叶びりば大ふ勢に逐同るは時林冲馬と
 飛し牙と拵く喬乃法と追來り罵く云賊人何まふ行やと叶び
 けいば小軍中より倪麟をと追くセカと舞しおまむおれ戦こと十條
 合なる処へ小陣中より雷震をと出し戦とゆくと純萬几の案案
 中より湯隆をと追り鉄挺をぬくおまむは時大軍大ふ喊と化
 里林冲の倪麟と戦ふと又二十條合はぬけ目と又と只一牙小倪麟と
 するより中ふ突伏られ雷震の眼の辺取方と失ふと又と自ら戦ふ
 小ふも馬と回して逐んとせしごまも湯隆お追かれ鉄挺お取と
 打碎り馬より落て死おけし

○ 入雲龍の共百谷山於成圍

け時東江毅代はく小軍と一掛し張法李雲龍二名顧大嫂一隊
 小切身れば小軍大ふ放やしを付る老教と志は孫猪其新費取
 薛燦らぬ只喬乃法とあつて又龍山下の陣と拵く昭徳城おぬん
 と己ふ城下小迫有る処ふああこの山下小合敵大ふふらひ一處の軍を
 と逐出はまふしふをんるあねの案案の猛拍徐寧案案と小軍を
 戦ふるまふ昭徳城中に。戴員相奎と戦ひし。案案令推文と押
 く只一歩小裁美とるり小切く落むば相奎大ふ勢と兵と引く城中お
 小切く案案く門と守しるも案案の勢も追て城中お切ふ城上より射下
 け矢の雨よりも茂れが兵と死し追く徐寧の兵と引く喬乃法は
 好走と逐りけまば孫猪其新費と死くお逐る昔は薛燦のま同と



新編水滸傳卷之七拾五

十一



新編水滸傳卷之七拾五

十一

徳小過く彼を討つ時汝彼を代たすは後く不悦を傲と為す
和あんと南州を亮し途中を妖人の勅静と号す
彼を執りて死すを以て涇東の喬例なることか
と肩と比れ只あ雷正法と汝投とるを以て彼を
と昭徳と名づく来東を不殺善人の法を徳小過
と名づくや今ありは地を逃さばく魔障小溜
怒るも又師の法も小遠くしは機会小使に降伏
る時あるべしとぞ時定は始くを念と懐り夫お
はしく中隊小回らるるに孫孫の樹窟ろと一
喬乃法と逃りけるを破る貴乃薛燦と汝汝の
西門より城中小をんとせし処お忽ち金鼓天
の軍勢近かりしを不をるあね梅柳虎王英少
千の軍を討つと逃りけるを貴乃薛燦の戦
法と護して一方を破り四方を掃て逃りし
諸の舎と法破るを陣子をむらと逃り来る
乃法は汝を夫小放すると出救りんと思へ
の城小をあんと計り撃つと城つと軍く出
の契瑞軍廷陸魏定とをを照徳城の死と
お小を合らるるを人か陣小をく体も
と逃りけるは時白日西山小沈と汝達
と燃し照輝して白昼の如し己小十里
の貴乃薛燦と月どく汝汝の共と引
行

の軍勢近かりしを不をるあね梅柳虎王英少
千の軍を討つと逃りけるを貴乃薛燦の戦
法と護して一方を破り四方を掃て逃りし
諸の舎と法破るを陣子をむらと逃り来る
乃法は汝を夫小放すると出救りんと思へ
の城小をあんと計り撃つと城つと軍く出
の契瑞軍廷陸魏定とをを照徳城の死と
お小を合らるるを人か陣小をく体も
と逃りけるは時白日西山小沈と汝達
と燃し照輝して白昼の如し己小十里
の貴乃薛燦と月どく汝汝の共と引
行

とてうらふしと云ふは、斗畧と云ふは、今に北に、同と云軍師のらに
策りある。兵用言く、城中の軍師の末、微かたに、兵高た、法の妖
術とれ、今彼放まして、外より、援の云、あつて、いんぞ、怖るん
今、新、雲村、小登、く、城中、と、軍、小、軍、士、各、野、あ、の、是、あり。
け、機、舎、小、あ、い、く。數、枚、の、紙、小、軍、氏、と、曉、倫、の、文、と、字、し、利、害、と、從
て、城、中、小、示、さ、る、軍、氏、必、し、お、た、と、傳、く、傳、事、官、ん、か、の、ど、く、ら、ぬ、小、血
ぬ、の、紙、機、と、ね、と、三、日、と、さ、る、べ、く、小、示、さ、る、軍、師、の、寺、孫、中、の
ま、と、い、ひ、逃、數、十、枚、の、文、と、字、し、と、云、

大宋征北正先鋒宋江 示諭昭德州守城將士軍民人等
悉知田虎叛逆法在必誅其餘脇從情有可原守城將士能
反邪歸正改過自新率領軍民開門降納定行保奏朝廷

救罪録用如將士怙終不悛爾等軍民俱係宋朝赤子速
當興舉大義擒縛將士歸順天朝為頭的定行重賞奏
請優敘如執迷不返巡城破之日玉石俱焚了遺塵有特

論

け、文、と、若、小、於、城、の、西、面、より、射、入、り、又、軍、士、小、余、じ、攻、む、と、後、に、城、中
の、備、を、と、何、れ、の、日、未、明、小、城、中、忽、ち、喊、と、起、り、門、小、海、城、と、互
け、ま、り、あ、い、の、計、能、ぬ、と、ほ、び、人、と、し、て、お、た、子、と、何、り、し、む、小、示、さ、る、
城、の、備、を、令、品、其、城、を、守、る、の、若、書、と、し、く、軍、氏、と、覺、り、割、れ、葉、声、
半、度、六、等、と、切、敷、し、三、人、の、名、と、竹、竿、小、掛、宋、軍、小、示、さ、る、軍、中、より
李、達、魯、智、張、武、松、劉、唐、鮑、旭、項、云、九、李、夜、叉、唐、斌、と、放、り、切、り、各、騎
小、示、さ、る、大、小、機、つ、と、突、き、數、子、の、軍、民、と、と、煙、炮、と、放、り、小、示、さ、る、と、逆

ふと中へけこむ。宋先鋒大はほび諸軍領ふ。敵方の軍馬を引牽
引てふ。城中ふをさく。城ふ諸軍及ふ血ぬ。城百姓を扶
毫もむ。城の中ふ元く。城の軍は己の師府
小登く。城の軍は己の師府
湯問の人おわさる。今長兄の威力を信く。又お入る。とゆ。校
物として。城中の。軍は己の師府
今鼎支城。軍は己の師府
宋江に。軍は己の師府
弟世の。軍は己の師府
く。城の軍は己の師府
魯夢。軍は己の師府

林嘆は。軍は己の師府
我は。軍は己の師府
孫。軍は己の師府
く。城の軍は己の師府
く。城の軍は己の師府

○陳攬 總官 安撫 小徑

け。軍は己の師府
黄。軍は己の師府
深。軍は己の師府
同。軍は己の師府
中。軍は己の師府



丁酉年八月廿七日



孫安
喬道清と
宋朝
降を

新編の傳記卷二十七

七

